

記者発表資料	
令和7年1月31日(金)	
担当課 (担当)	観光・ジオパーク推進課 平井、川口、多賀
電話	30-8291(内線7531)

砂の美術館 第15期展示経済波及効果について

砂の美術館第15期展示「砂で世界旅行・フランス編」は、令和6年4月19日から令和7年1月5日までの262日間の開催となり、**来館者数は380,186人**となりました。

<参考>第14期展示(エジプト編)来場者数:585,762人(2か年473日間)

■R4年度:237,590人(期間:R4.7.30~R5.1.9、R5.3.1~3.31 ※195日間)

■R5年度:348,172人(期間:R5.4.1~R6.1.3 ※278日間)

来館者アンケート回答者(4,019人)の97.5%が砂の美術館の印象は「良い」と高評価をいただくとともに、94.7%を県外者が占め、76.6%の方が宿泊されるなど、地域経済の活性化や観光振興に貢献することができました。この第15期展示の経済波及効果及び宣伝効果については以下のとおりです。

経済波及効果	113億6千万円	来館者アンケートデータをもとに 鳥取県産業連関表を用いて算出 【参考】第14期:171億2千万円(473日) (R4:67億5千万円、R5:103億7千万円)
経済波及効果の内訳 ◆直接的経済効果(実際に支出された額) 72億8千万円 ※直接的経済効果とは実際に支出された額のことをいいます。 ◆間接的経済効果(1次波及効果と2次波及効果に分類) 40億8千万円 第1次波及効果(直接的経済効果分の支出に対して調達した財・サービスの内訳) 27億円 第2次波及効果(1次波及効果で発生した額が各家計に所得として割り振られ、消費に回された額) 13億8千万円		
宣伝効果	2億3千8百万円	テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、WEB等の 広告料を換算し算出 【参考】第14期3億円 (R4:8千万円、R5:2億2千万円)
テレビ(全国版)1億4,600万円(地方版)4,900万円/新聞、雑誌、ラジオ、WEB、その他4,300万円		

傾向と分析

- コロナ禍を経て5年ぶりの通常開催となった第15期展示の来館者数は、前年度(第14期展示後半)と比較し、約3万2千人増加した一方、コロナ前に開催の第12期展示(令和元年度)の50万人の76%に留まるなど、回復の途上にあります。
- 外国人観光客(対前年度比4.7%の増加)および個人・小グループ(対前年度比21.6%の増加)は好調だった一方で、昨年4月からの時間外労働の上限規制の影響などにより、バスツアーなどの団体客が前年度から▲36.5%と大幅に減少しました。
- 来館者の7割以上が宿泊されており、地域経済の活性化や観光振興に貢献したものと分析しています。